



Rotary International District2510 2020 September

GOVERNOR'S Monthly Letter

2020-2021年度 ガバナー月信



ロータリーは機会の扉を開く



Rotary Opens Opportunities

国際ロータリー第2510地区
2020-2021年度 ガバナー 福井 敬悟

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階
TEL/011-207-2510 FAX/011-207-2512
E-MAIL/rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ 「ロータリーは機会の扉を開く」



国際ロータリー第2510地区 2020-2021年度地区目標

2020年日本のロータリー100周年を祝おう!
~これからの100年に向けて~

- ① IT活用の推進と公共イメージの向上
- ② 会員基盤の強化
- ③ 1クラブ1プロジェクトの推進
- ④ ロータリーファミリーへの支援と学友連携の強化
- ⑤ クラブ戦略計画の作成に期待

CONTENTS

●ガバナーメッセージ	1	●地区ガバナー補佐会議・会員増強セミナー	15
●「ロータリーの友」について	2	●ロータリー探訪「急速に変化するロータリー」	21
●ガバナー公式訪問	3	●ガバナーノミネー候補者推薦のお願い/VICT委員会からのお知らせ	22
●新会員の紹介	8	●2020-2021年度地区大会のご案内	23
●米山奨学生の紹介	9	●地区カレンダー(9月・10月)	24
●ハイライトよねやま/米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付	10	●会員数・例会数	25
●ロータリーコーディネーターNEWS	11	●新型コロナウイルス対策	26
●第1地域RRFC便り	13		

今月は基本的教育と識字率向上月間です



国際ロータリー 第2510地区
2020-2021年度ガバナー

福井 敬悟
(札幌手稲RC)

本年度も2か月が経過し、公式訪問は9月に入り70クラブ中35クラブを数え、ようやく折り返し地点となりました。今年も非常に暑い日が続いておりましたが、私自身ここまで体調崩すことなく健康を維持して取り組んでおります。

これもひとえに、訪問した各クラブの会員皆様による心温まる歓迎、そしてクラブ会長初め各委員長の活動方針に情熱を感じることができたからと思ひ感謝しております。

まだまだ新型コロナウイルスの終息が見えない中、新たな生活様式が求められており、オンラインやパーティーション、時間配分など例会を開催するために知恵を絞り、試行錯誤しながら取り組んでいる姿にロータリアンの魂を感じます。

各クラブ訪問でいただいたご意見をもとに、地区ICT委員会が中心となり、地区ホームページも更新しております。今後は各委員会も情報をどんどん配信していきます。

このような状況だからこそ、引き続きクラブの例会にも活用いただけるような情報を掲載いたしますので、ピンチをチャンスに変えて取り組んでいきましょう

さて、9月は基本的教育と識字率向上月間です。日本では話題にもならないテーマかもしれませんが、全世界的には16歳以上の人口のうち、7億7,500万人が読み書きができず、6,700万人が学校に通っていないそうです。発展途上国を中心に、文字の読み書きや最低限の教育を受けられない子どもが多くいます。文字を読めない、教育を受けられないことにより、危険を認識できない、計算ができない、仕事を選ぶことができない等の問題が起こってまいります。この問題にクラブ独自で取り組むことはなかなか難しいかもしれません。ロータリー財団を通しての支援、あるいは地区国際奉仕・VTT委員会が様々な項目での支援に各クラブのご協力を依頼しております。ぜひ皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

当地区では、ベトナムでのグローバルグラントの実施にタイ3340地区と共に挑戦し、承認されております。

GG1987147 「Basic Education and Literacy focused on Digital Learning in rural area of Vietnam」※重点分野:基本的教育と識字率向上

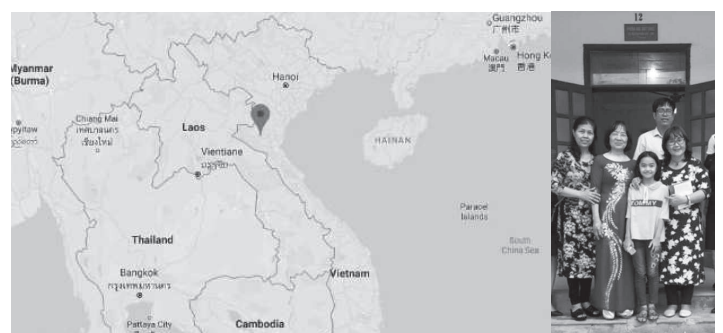
ベトナムにはロータリークラブがまだございませんが、グローバルグラントの実施が認められております。

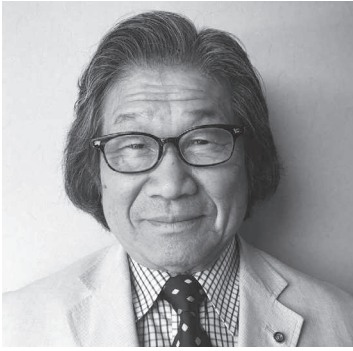
実施地は、ハノイから約800キロのベトナムNghe-Anで、農村地域の人口の1人あたりの収入が、ベトナムで最も低くなっております。この遠隔地の学校には、都市部の学校のような最新の技術教育システムが装備されておられません。教師の収入も少なく教育に関する知識も乏しく、新しい技術での教育環境が全くない状況です。ベトナムNghe-Anの学生と教師の基礎教育と識字率の向上の提供のために、早急に教育環境を改善する必要があります。このプロジェクトは、必要なニーズが特定されたデジタル学習を広範囲で提供し、これに大きな効果を生み出すことを目的としております。このグローバル補助金の目的は次のとおりです。

1. デジタルライブラリシステムに関する教師と生徒のトレーニング
2. オンラインツールを使用して学生の高次思考スキルを向上させるプロジェクトベースのユニットを開発する方法に関する教師のトレーニング
3. 技術、問題解決、自発的思考、コラボレーションスキルを開発するカリキュラムの開発方法に関する教師トレーニング
4. テクノロジーを既存の教室カリキュラムに統合し、学習を促進するユニットを開発する方法に関する教師のトレーニング
5. 必要なデジタルシステムと書籍を提供

地元教育機関と連携し、Nghe-Anの小学校～中学校～高校までの先生と生徒を対象に実施されますが、持続可能性を向上させるため、特にこの新しい教材を使いこなすための先生のトレーニングに特に力を入れ、持続可能で広範囲に効果をもたらす内容となっております。(ロータリー財団 委員会資料より)

9月とはいえ、まだまだ残暑が厳しく、また新型コロナウイルスの影響も継続している状況ではございますが、各クラブの会長幹事の皆様、そして会員の皆様、健康を第一に益々のご活躍を期待しております。





「ロータリーの友」について

ロータリーの友

地区代表委員 **丹羽 祐而** (札幌手稲RC)

日頃は「ロータリーの友」対してのご理解及びご支援を頂き、心より感謝申し上げます。私は、7月よりロータリーの友の地区代表委員になりました。役割としましては、地区の代表としてこの一年、ガバナーに代わって「友」の誌面づくりに携わっていき、地区会員の皆様と「友」誌の架け橋としての存在と思っております。何卒よろしくご協力のことお願い申し上げます。

さて、今期は全く想像もしていなかった新型コロナウイルス感染症騒動により、ロータリークラブ運営に諸々の問題が生じていることと考えます。

周知のこととは思いますが、本年度のRIテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」とあります。地球規模の問題が登場した現在、当テーマはロータリークラブにニューウエーブを語りかけているように感じます。

ところで、9月は「ロータリーの友月間」となっております。つきましては、既にご覧になっていると思いますが、折角の機会ですので、20-21年度「ロータリーの友」の編集企画の大枠を紹介させていただきます。

1.表紙については、国際ロータリーのブランドガイドラインに沿った表紙にリニューアルしました。季節を感じさせるようなポップなタッチで、気軽に持ち歩きたくなるようなデザインとなっております。

2.新企画 コミック「ポール・ハリスとロータリー」の連載が登場しました。ロータリーの創始者ポール・ハリスの生い立ちから、「決議23-34」が制定されるまでのドラマを7月号から一年掲載となります。入会見込み者に語りかけの折に活用されると効果があると考えます。また、新会員の学習素材としても役立つと思います。

3.新企画としては「おとなの着こなし図鑑」のページがあります。ロータリアンが着る機会が多いビジネススーツに改めて着目しようというコーナーです。ビジネスファッションのミニ知識、着こなしに関する相談コーナーも用意しております。ページの担当はファッションディレクターの安積武史氏(東京北ロータリーク

ラブ会員)で、会員諸氏の息抜きのページとなることと思われます。

4.継続企画「侃々諤々(かんかんがくがく)」が話題となっているようです。毎回テーマを設けて、ご意見を募集し掲載します。これを素材にクラブ内での議論につなげ、ロータリーの活性化の切っ掛けづくりを目指します。年4回を予定し、テーマ、募集要項は本誌とウェブサイトを通してお知らせいたします。是非のご応募を期待しております。

5.継続企画「写真でつづる100年 日本のロータリー」(2020年10月まで掲載)来る2020年10月の日本のロータリー創立100周年に向け、これまでのロータリーの活動を写真で振り返るといった連載です。これも、ロータリーの学習には優れた素材となることは間違いないことでしょう。

6.「内外よろず案内」の充実を。このページは、ロータリークラブや地区等が実施するイベントの事前情報をお知らせし、全国のロータリアンが相互に交歓を重ね親睦を深めるためのユニークなコーナーです。ウェブサイトと併せての紹介となります。

以上の6項目がメイン企画となり刊行となります。ぜひとも期待頂きご高覧の程お願いいたします。

現在、会員増強が強く叫ばれています。その意味では「ロータリーの友」誌の活用はとても重要と考えます。職場は勿論のこと、ご家庭でも閲覧し易い環境を工夫頂ければロータリーの情報がより広範囲に広がることでありましょう。それにより、多くの良質なロータリーの情報が社会に流れることが、結果として会員増強に繋がると確信いたします。

その意味におきましても、魅力ある誌面づくりをするためにも、会員諸氏の積極的な投稿を期待しております。なお、投稿方法などについては、毎号「友」誌面に紹介してありますので、ご覧下さいますようお願い申し上げます。

ガバナー公式訪問報告

紙面の都合上ならびに原稿の到着日により掲載順が前後する場合がございますのでご了承ください。

深川・妹背牛ロータリークラブ

7月7日(火)

「ガバナー公式訪問 in 深川」

7月7日(火) 福井敬悟ガバナー、第1グループ澁谷賢治ガバナー補佐、和田地区幹事、高張地区幹事をお迎しラ・カンパニウホテル深川にて新型コロナウイルス感染症に対し十分な配慮をした上で深川RC・妹背牛RC合同でのガバナー公式訪問が開催されました。

10時からの会長・幹事懇親会では会長エレクトを加え、当クラブの現状と本年の活動方針の報告をし福井ガバナーより御教授を頂きました。その後、妹背牛RC会長・幹事懇親会が行われました。

11時30分より深川RC・妹背牛RC合同クラブ協議会にて両クラブの各委員長による活動計画についての説明をさせて頂きました。福井ガバナーから新型コロナウイルス感染症によりクラブ運営が変わっていくかと思われそうですが、状況を考慮しながら行って頂きたい、また地区からのDVDやホームページを活用して頂きたいと、お話がありました。

12時30分よりガバナー公式訪問例会が開催され、両クラブ会長挨拶後 本年度入会した清水秀晃会員の入会式が行われ、福井ガバナーより徽章を付けて頂きました。

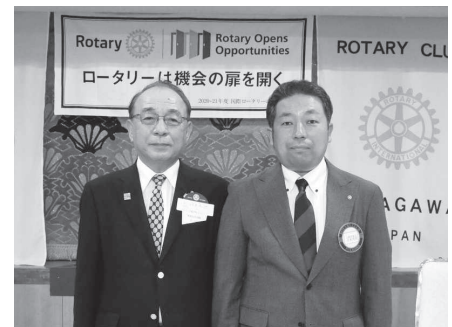
その後、福井ガバナーより卓話を頂き PETS、地区研修・協議会が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったので本日が初めて多くの方の前で話す事となったとお話し後、クナークRI会長のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」についての説明と、地区目標の方針としての「守・破・離」をテーマにお話を頂き、最後にクナークRI会長のメッセージである「ピンチをチャンスに変える」コロナ禍の状況ではあるが“ロータリーをさらに強くするチャンスである”とお伝え頂きました。

さらに御同行頂いた池田地区大会実行委員長より地区大会の延期のご案内と、大会 PR のご挨拶を頂きました。

例会後、昼食をとり市長表敬訪問のため深川市役所へ向かいました。

表敬訪問では、福井ガバナーを交えて山下市長との懇談が行われ、終始 和やかな雰囲気の中で終わり、長時間に渡ってのプログラムが終了致しました。

結びに、ご多用の中 福井ガバナーと澁谷ガバナー補佐をはじめとされます地区役員の皆様におかれましては、当クラブへのご訪問 誠にありがとうございました。



砂川ロータリークラブ

7月8日(水)

7月8日(水) 2020-2021年度ガバナー公式訪問を頂きました。

福井ガバナーは宗方ガバナー補佐、高張地区幹事と共に、開始時間より30分程早く快晴の砂川に到着されました。

午前10時より、会長・幹事懇談会に出席され砂川ロータリークラブの歴史・特徴について説明を聞いていただき、良い点を伸ばし会員増強に努めるようにお話がありました。

午前11時半より、クラブ協議会に参加され各委員会の活動・方針について報告を受け中規模な会員数であるが出席率が高くまとまりがあるクラブと称されました。

午後12時半より例会にて、卓話を頂き砂川ロータリークラブで公式訪問例会が2回目ということであること。コロナの影響で話す機会がなかなか無くまだ慣れていないとお話していました。

地区大会について、例会から参加頂きました池田地区大会実行委員長より5月延期の旨をお伝えしていただきました。

最後にロータリーの目的について話され、ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにありと結ばれ、砂川ロータリークラブへの福井ガバナー公式訪問を終了されました。



長沼ロータリークラブ

7月13日(月)

7月13日、福井ガバナー、橘ガバナー補佐、和田地区幹事、高張地区幹事をお迎えし、本年度の第7グループ内で最初のガバナー公式訪問が長沼RCで開催されました。

午後5時より会長・幹事懇談会を開き、ITの積極的な導入や若い会員を増強するメリットなどについてお話し頂きました。和やかな雰囲気の中で懇談が行われ、実際に「zoom」を使ってのオンライン会議のデモンストレーションまで披露していただき、ITをより身近に感じることができました。

引き続き行われたクラブ協議会、例会では福井ガバナーより貴重なご意見をいただきました。パワーポイントによるRI及び今年度の地区目標についての説明がとても分かりやすく、有意義な公式訪問となりました。福井ガバナーのおっしゃった「ピンチをチャンスに」を合言葉に、この混乱期を乗り越えて参りたいと思います。

ご訪問いただいた福井ガバナー、橘ガバナー補佐、和田地区幹事、高張地区幹事に会員一同心より感謝申し上げます。



江別西ロータリークラブ

7月14日(火)

ガバナー公式訪問をお受けする為、担当者は早めに会場入りし準備をしました。コロナ禍で、地区の研修は今日まで全て中止となったので、福井ガバナー、高張地区幹事と半年ぶりにお逢い出来、大変嬉しく思いました。ホルガー・クナークRI会長は、「ロータリーは変わらなければならない、一緒に座って食事をする、この様な形式に固執することは無い」と仰っております。若い年代の会員の能力を大いに活用し例会参加にオンラインを使用することも時には必要。これを機（現在の状況）に、例会場に常に来ることは難しいけれども、ロータリークラブに興味がある人達への会員拡大が期待できる。正に「ロータリーは機会の扉を開く」です。また、シニアの世代に対する様々な配慮も必要となる。6月の例会で地区目標のDVDを視聴しましたが、今回当クラブを訪問頂き直接お話頂いたので、「守・破・離」の心の理解が更に深まりました。誠に有難く感謝致します。福井ガバナーが、御健勝にて1年間の職責を全うされますことを祈念致します。



恵庭ロータリークラブ

7月15日(水)

7月15日(水) 福井敬悟ガバナー、第7グループ橋功記ガバナー補佐、和田敬友・高張秀人両地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。例年と異なった状況の中、感染拡大防止対策をほどこし午前10時30分より会長・幹事、エレクト懇談会を行いました。当クラブの長年継続して行っております交換留学生事業及び米山奨学生への取組み等それぞれ年代別の青少年活動に対するお話、又幅広い年齢層の中で会員相互が協調性を保ち円滑に交流、活動している現状などお話し、深く共感していただき今後の活動へ向けてより一層の励みとなりました。この様な状況下の中、密を避けるために限られた時間ではありましたが、福井ガバナーのお人柄なのか終始和やかな雰囲気の中、実りある有意義な懇談会でした。



11時よりクラブ協議会を行い各委員長より今年度事業計画を発表させていただき、それぞれの項目に対して助言を頂きました。

その後、会員を含め全員で昼食をとり例会を開催いたしました。卓話の中で福井ガバナーより冒頭新型コロナウイルス感染症の為、地区研修・協議会がDVDの配布で伝えることになった事、又作成に手間取り会長テーマ・地区目標をお伝えする事が遅れた事そして又、時は待ってくれない「ピンチをチャンスに変えるぞ」とのお話がありました。そして地区目標の方針として「守・破・離」の心で、初心忘れず、変化を恐れず、希望の扉を開きましょう!



地区目標を「日本のロータリー100周年を祝おう」としたことに對しての経緯等のお話を伺いました。更にはクラブの基盤・会員の基盤を強くしていくこと、感染症に対応できるクラブ細則の見直し、新型コロナウイルス感染症は“ロータリーをさらに強くするチャンス”であるというお話を頂き、まさにその通りであると強く共感致しました。

例会終了後全員で記念写真を撮りガバナー公式訪問は終了となりましたが、私共はこの公式訪問を機に、更に活動を活発化して行きたいと思えます。

最後になりますが、第2510地区全クラブへの公式訪問が無事に終わることをお祈り申し上げます。

芦別ロータリークラブ

7月16日(木)

7月16日(木) 芦別ロータリークラブガバナー公式訪問例会が福井敬悟ガバナー・第2グループ宗方裕之ガバナー補佐、高張地区幹事、池田地区大会実行委員長をお迎えしてコロナ禍の中、時間短縮での公式訪問例会が開催されました。

当初の予定時間より少し早く芦別に来られましたので、芦別RC創立10周年に市内旭丘公園(サル山)に植栽された針葉樹2,858本と広葉樹554本の「ロータリーの森」を見学していただきました。また、昨年6月にJR芦別駅より道の駅に移設された「ロータリーの碑」を見学していただき昭和34年に作られた石碑に感銘を受けておられました。



11時より芦別商工会議所役員室に於いて会長・幹事・会長エレクトの3名で今年度の活動内容を説明させていただき、コロナ禍の対応として変化を恐れずいろいろな取り組みをすることが必要との助言をいただきました。クラブ協議会は中止して昼食を挟み12時30分よりガバナー卓話として今年度のガバナーの指針「守・破・離」の心を熱くお話いただき、時間短縮の中で大変有意義なガバナー公式訪問となりました。

美唄ロータリークラブ

7月16日(木)

令和2年7月16日(木)、午後4時30分から福井ガバナー、高張地区幹事、池田地区大会実行委員長、後藤ガバナー補佐、雉子谷第3地区ガバナー補佐代表幹事、武田第3地区ガバナー補佐幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

会長・幹事会では、平田会長より当クラブの近況と特徴について報告させて頂いた後、ガバナーからご意見を頂くとともに、様々なご指導を頂き、なごやかで有意義な時間を過ごすことができました。

クラブ協議会では、各委員会から今年度の活動計画を説明させて頂き、ガバナーから各委員会へのご意見やご助言を総評して頂きました。

夜間例会前に、福井ガバナーはじめ6名の来訪者及び会員全員で記念写真を撮影しました。

卓話では、会員が減少している昨今、衛星クラブなどで後継者が入会しやすい環境を作ることや、ロータリーの目的の再認識とロータリーの魅力を地域に伝えることなどが会員増強に繋がるのではないかとお話し頂きました。

お忙しい中、福井ガバナー、高張地区幹事、池田地区大会実行委員長、後藤ガバナー補佐、雉子谷ガバナー補佐代表幹事、武田ガバナー補佐幹事におかれましては、当クラブに公式訪問して頂きありがとうございました。会員一同感謝申し上げます。



浦河ロータリークラブ

7月28日(火)

7月28日にガバナー公式訪問は福井ガバナー、和田地区幹事、石川地区幹事、山形ガバナー補佐をお迎えいたしました。

新型コロナウイルス感染防止から会長・幹事会とクラブ協議会の開催になり、会員全員での例会中止で不本意ながら、会員10名でのお迎えとなりました。

10時30分からの会長・幹事会ではガバナーも気さくに話され、他のクラブの例会状況や今後の例会方法などのアドバイス等も頂きました。

11時からのクラブ協議会では、プロジェクターを使いサンディエゴの研修の様子、RI会長のスローガン、第2510地区目標等話されました。

さらに、自らのスローガン「守・破・離」の心で、初心忘れず!変化を恐れず!希望の扉を開きましょうを説明されました。

その後各委員長の活動方針を聞いて頂き、各委員会毎にアドバイスを頂きました。

12時から会場を移動し昼食会場にて記念撮影をし、公式訪問を終えました。

大変有意義な一日となりました。ありがとうございました。



様似ロータリークラブ

7月28日(火)

7月28日(火) 福井敬悟ガバナー、山形弘ガバナー補佐、和田敬友地区幹事、石川信行地区幹事をお迎えして、様似アポイ山荘にて公式訪問が開催されました。様似町は世界ジオパークに認定された町です。空き時間を利用して、ガバナー御一行をご案内したいと申し出た所、快く受け入れて頂きました。公認ガイドの資格を持つ様似RC会長の奥様ご案内の元、ビジターセンターと観音山に行きました。観音山の展望台から見る景色は絶景です。私の時代は、女性を口説く時に連れて行く場所でもありました。百聞は一見に如かず、皆様も一度は様似に来てみてください。案内も無事終わり、会長・幹事会、クラブ協議会が行われ、「守・破・離」の心をベースにした、ガバナーの卓話と映像による説明や、地区目標を具体的にかつ多岐にわたり、有意義なお話をお聞かせいただきありがとうございました。最後にガバナーは私の破天荒な申し出にひと言も触れず、終始笑顔を決やさず「これぞ紳士」的な姿に感銘をいたしました。例会終了後、福井ガバナーを中心に記念撮影を行い、ガバナー公式訪問終了となりました。福井ガバナー御一行の皆様、当クラブへの公式訪問誠にありがとうございました。



栗沢ロータリークラブ

7月29日(水)

7月29日(水) に福井敬悟ガバナー、高張秀人地区幹事、後藤一昭ガバナー補佐、雉子谷明ガバナー補佐代表幹事、武田勇次ガバナー補佐幹事をお迎えし、公式訪問が開催されました。

午前10時からの会長・幹事、会長エレクトとの懇談では、小田会長より当クラブの現況等について説明いたしました。福井ガバナーからは、農業地域ならではのネット環境を整備している農業者へ卓話依頼や都会から移住してきたシニア世代の勧誘による会員増強の取り組み、新型コロナウイルス感染症に対応したクラブ運営の方策についてアドバイスをいただきました。

午前11時から開催されたクラブ協議会では、各委員長から活動計画をそれぞれ発表し、福井ガバナーから懇切丁寧な講評がありました。

例会では福井ガバナーからご挨拶と卓話をいただき、終始和やかな雰囲気の中での公式訪問となりました。例会終了後、福井ガバナーを囲んで記念撮影を行い、公式訪問を終えました。

福井ガバナーには、向こう1年間ガバナー活動が有意義なものとなることをご祈念申し上げ、公式訪問のお礼とさせていただきます。

福井ガバナー誠にありがとうございました。



新会員のご紹介

(敬称略)



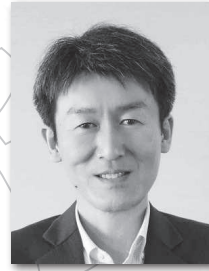
岩見沢RC
宮田史子

令和2年7月16日入会
電気供給



江別RC
藤原敏信

令和2年8月6日入会
板金工事



札幌北RC
沖田淳也

令和2年8月3日入会
信用金庫



札幌はまなすRC
岸 隆之

令和2年7月1日入会
電力供給



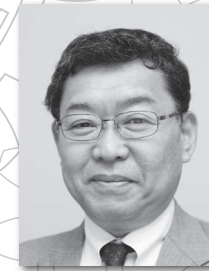
新札幌RC
加藤裕美

令和2年7月8日入会
電力供給



新札幌RC
谷地中 勉

令和2年7月15日入会
電気通信工事業



小樽RC
相原秀起

令和2年8月4日入会
新聞発行



小樽RC
大谷純一郎

令和2年8月4日入会
信用金庫



小樽RC
坂井鉄路

令和2年8月4日入会
工業銀行



小樽RC
沼田和之

令和2年8月4日入会
商業地方銀行



千歳RC
菅原伸一

令和2年7月30日入会
総合建設工事



千歳RC
沼田哲平

令和2年7月9日入会
石油製品



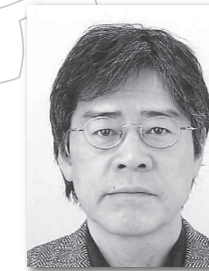
室蘭北RC
柳谷純二

令和2年7月28日入会
ホテル



苫小牧RC
稲葉良暢

令和2年8月7日入会
貸事務所



苫小牧RC
平山栄嗣

令和2年8月7日入会
新聞発行



伊達RC
林 浩一

令和2年7月1日入会
砂糖製造

YONEYAMA SCHOLARSHIP

米山奨学生の紹介

多文化交流を大事に

呉 憂ゴ ユウ(中国)

北海道大学・札幌南RC

2010年、私は中国高校生訪日団の一員として、「21世紀東アジア青少年大交流」というイベントに参加し、初めて日本を直接体験しました。当時、非常に感銘を受けたのはホームステイでの経験でした。日本人高校生の家で、日本食を食べたり、着物を体験しました。二日間だけの交流でしたが、漢字、英語とジェスチャーで意思疎通し、「家族」の一員として受け入れられた気がしました。人と人のコミュニケーションは、国、言語と文化のボーダーを超えることを認識できました。それをきっかけに日本語を勉強し始め、日本をより深く知りたいと思うようになりました。その経験のおかげで、二次的な情報だけで偏見、誤解、敵意などを持っている人々が、世界中にはたくさんいるだろうと気づきました。大学を卒業後、日本に進学することを決めました。自分が知っている中国、また自分が感じた本当の日本の様子をさらに多くの人々にアピールしたいと思いました。

5年前、私は北海道大学の学生になりました。英米文学を専攻しています。研究室や学会で出会った先生や大学院生との交流を通して、学術交流は文化的背景の境界を越えることをさらに自覚するようになりました。日本でアメリカ文学を勉強することで、英語圏の文化それ自体を学ぶだけでなく、日本特有の文化や考え方を通すことで、より国際的な視点と横断的な発想を持ちながら、文学を研究できると思っています。自分の研究結果については毎年イギリス、中国などで開催された国際学会で積極的に発表を行いました。

研究以外においても、私はほかにも多文化交流の機会に恵まれており、その経験を通し、架橋になれるように努力し続けてきました。北海道大学民謡研究会「わだち」及び中国ダンスサークル「華」のメンバーと



して、札幌中国総領事館、北海道大学留学生送別会などに出演し、多くの人に日本と中国のダンスの魅力を伝えました。また、留学生ナビゲーターとして「Catch Your Dream! -Study in JAPAN - 北海道大学編」に出演し、北海道大学を海外の人々に紹介しました。そのほか、日本政府観光局(JNTO)の留学生ライターとして、北海道地域の記事を書き、北海道の美しい景色や独特な文化を世界に発信しました。さらに、北海道国際交流・協力総合センターや北海道大学国際本部などで、高校生、一般市民との交流活動にも積極的に参加し、中国のことや自分が体験した日本について皆様とシェアしています。

今後、私は様々なことを体験し続け、多文化間の架け橋になりたいと思っています。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

2020.8.14

VOL.245

1 寄付金速報 —2020-21年度のスタートは?—

2020-21年度の寄付金は2億2,600万円、前年度と比べ約460万円の減少(普通寄付金:4.1%減、特別寄付金:3.5%増)となりました。前年との比較では減少となったものの、7月単月の寄付額を直近10年間の平均と比較すると、特別寄付金は最高額、普通寄付金でも550万円ほど多い結果となっています。新型コロナウイルス感染症が再拡大する中であるにもかかわらず、皆様の今までと変わらぬご支援に心より厚く御礼申し上げます。今年度も引き続きご支援賜りますようお願いいたします。

2 カンボジアの子どもたちに読書習慣を

第2750地区(東京都)米山学友会では今年2月、カンボジアの子どもたちに本を読む習慣を身に付けてほしいと、ミニ図書館や文房具、また、サッカーボールなどスポーツ用品を小学校へ寄贈する奉仕活動を行いました。首都プノンペンから車で1時間ほど離れた村にある Sdau Kanlaeng 小学校。70年以上の歴史があり、幼稚園生から小学校6年生までの約900人が通っています。校舎が老朽化し、子どもたちは午前と午後の二部交替制で学ぶことを余儀なくされています。2月14日、学友会を代表してカンボジアに向かった陳 瑤直前会長(2012-14/四日市東RC)は、「コロナのため寄贈式の延期も考えたが、子どもたちの期待にどうしても応えなかった。暗いニュースが多いなか、少しでも心が温まる報告ができて嬉しい。ロータリアンや学友会の皆さんへ子どもたちの笑顔を届けたい」と、語ってくださいました。なお、同学友会では同月、中国湖北省の総合病院へ防護服100着と医療用マスク1,000枚のほか、義援金を届ける活動もしています。



寄贈された本を夢中になって読む子どもたち

3 2021学年度奨学生の募集開始

来年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山記念奨学委員会が選定し、当会選考・学務委員会と常務理事会の承認を経た指定校は、全国で576校(前年度558校)。指定校からの被推薦者数は1,894人(同1,821人)で、この中から新規奨学生約630人が選ばれます。今回、初指校は10校。また、5地区が例会に通える範囲の地区外の大学を指定。大学・大学院以外を対象とする地区奨励奨学金は、13地区(同15地区)32校(同33校)となりました。各地区委員会では毎年、大学説明会や担当者と の懇談を行い、事業の目的に合う多様な人材を採用しようと努力しています。当会からは8月7日に、全指定校に宛ててメールで通知しました。指定校からの応募締切は例年通り、10月15日となります。

※指定校一覧、募集要項・申込書式は、当会ホームページにて公開しています。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel:03-3434-8681 Fax:03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当:野津(のづ)・峰(みね)

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

砂川RC	飯澤 明彦	会員	(1回)	7月13日	札幌南RC	澤田 隆一	会員	(5回)	7月31日
砂川RC	松原 重俊	会員	(2回)	7月13日	苫小牧東RC	吉田 正範	会員	(1回)	7月28日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

メジャードナー

札幌手稲RC	福井 敬悟	会員(レベル2)	7月9日	札幌南RC	榑引 拓禎	会員	(2回)	7月31日
				札幌南RC	佐藤 嘉一	会員	(2回)	7月31日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

砂川RC	銚井 直作	会員	(1回)	7月10日	札幌南RC	佐藤源五郎	会員	(4回)	7月31日
砂川RC	杉本 勉	会員	(2回)	7月10日	苫小牧RC	伊部 廣明	会員	(2回)	7月15日
砂川RC	松原 重俊	会員	(3回)	7月10日	ポール・ハリス・フェロー				
					札幌清田RC	三浦 信一	会員		7月29日

Rotary



Region 1 & 2 & 3

コーディネーター NEWS

2020年9月号 No.1

発行:Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

オンライン例会、ハイブリッド例会を開催しませんか

新型コロナウイルス(以下「コロナ」)の感染拡大が止まりません。感染者の確認は全都道府県に及び、大都市圏では毎日のように「過去最大の感染者数を記録」と報道されています。そのような中、しばらく例会を休止していたロータリークラブも、6月の緊急事態宣言の解除を受けて、ほとんどのクラブが例会を再開したようですが、どのような形で再開されたのでしょうか。

国際ロータリーは、コロナによるパンデミックを受けて、地区およびロータリークラブとローターアクトクラブが、会合やイベントをオンラインで行うか、中止または延期とすることを推奨しました。そこで、多くの地区やクラブが予定されていた会合のいくつかをオンラインで開催しました。それらの経験を通じ、今やオンラインによる会合の開催は、「特別なこと」ではなく、「選択肢の一つ」になりつつあるように思います。しかしその目的は情報の伝達や意見交換程度にとどまり、クラブが例会そのものをオンライン形式で開催したという例はまだまだ少ないようです。

私の個人的な経験ですが、関係しているいくつかの団体のうち、理事会などをオンラインで開催したところもあれば、机の配置などを工夫してあくまでも対面式の会合にこだわったところと様々でした。これはどうやらそれぞれの法人の監督官庁の指導によるものと推測されます。今、公益法人では、「出席者間の協議と意見交換が自由にでき、相手方の反応がよく分かるようになっている場合、すなわち、各出席者の音声や映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いのできる仕組みになっており、出席者が一堂に会するのと同様の相互に十分な議論が行うことができるという環境」であれば理事会等をWEB会議などのオンライン形式で開催してもよいという考え方が一般的なようです。

この「出席者間の協議と意見交換が自由にでき、相手方の反応がよく分かるようになっている」という考え方は、ロータリークラブの例会にも当てはまりませんか。互いの映像を見ながら、画面を通して直接会話することができれば、顔と顔を合わせての会合に劣らない交流を図ることができるのではないのでしょうか。

標準ロータリークラブ定款第7条(会合)第1節(例会)(b)には「会合の方法。例会は、直接顔を合わせるか、電話で、オンラインで、またはオンラインの参加型の活動を通じて開催することができる。」と規定されています。クラブ細則でオンライン例会を明示的に禁止していない限り、どのクラブでも理事会の決定で次週の例会からオンライン形式を採用することは可能であるはずですが、これまでの慣習を重んじて対面式にこだわっているクラブが多いように見えます。全員がオンラインで出席するのは寂しいと思われるなら、対面式とオンライン形式を併用した「ハイブリッド例会」はどうでしょうか。実際に出席した会員と、オンラインで出席した会員が画面を通して会話をしたり、一緒に卓話を聞いたりすることができる例会です。それでもまだ会員の中に抵抗があるようでしたら、クラブ細則で、会員がオンラインで例会に出席する回数に上限を設けるのも一案でしょう。

コロナによる影響をマイナスばかりではなくプラスに転じるように、オンライン例会に挑戦し、あなたのクラブの活性化のきっかけにしましょう。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 滝澤 功治(神戸須磨RC)

Rotary



Region 1 & 2 & 3

コーディネーター NEWS

2020年9月号 No.2

発行:Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

ご挨拶

本年度より第3地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐を拝命致しました第2670地区(新居浜ロータリークラブ)の桑原征一と申します。浅学非才の身ではありますが、関係各位の皆様方のご指導を頂きながら、与えられた責務を全うしていきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

さて、まずは昨年度の地区ガバナー、各委員長、又、各クラブの会長、幹事、委員長他、全ての皆様方に感謝申し上げます。一年間本当にご苦勞様でした。新型コロナの感染拡大の中、皆様方が計画された多くの活動が中止や延期となった事と思えます。多くの人の想いを込めた事業を中止せざるをえなかった無念と失望は如何ばかりかと、拝察いたします。皆様方のロータリーに対する情熱や想いは事業が中止されたからといって、けっして消えるものではありません。この体験を次の方々を引き継いで、更に活発なロータリー活動につながるよう、ご尽力をお願い申し上げます。

また、本年度の地区、クラブの役員の皆様方、日本全国、コロナの大きな影響を受けている大変な時期に地区ならびにクラブの運営を担当される事、誠に苦勞様でございます。地区協議会やその他の会合を開催出来なかった地区もあろうかと思えます。自らの想い、情熱を直接肉声で届けることが出来ず、手探りで、地区または、クラブの運営に当たらざるを得ないもどかしさを感じられていることと思えます。

残念ながら、現在の状況は我々が、対応策を講じなければなりません。今の時期こそ、地区役員、クラブ役員の英知を結集しなければならない時期だと思えます。コロナは何時終息するかわかりません。今この状況のなかでのロータリーの活動の在り方を見直してみてもいいでしょうか。ピンチを变革のチャンスと捉え、あらゆる方策を模索してみたいと思えます。新しいタイプのロータリー活動が生まれてくるかも知れません。考えてみるとワクワクしませんか。クラブ運営や地区運営にWEBを活用することで、地域社会との連携に大きな効果が出るのではないのでしょうか。

ロータリー活動の基本は毎週一回の例会出席にあり、例会での会員同士の親睦が奉仕活動の活力の源泉であると信じております。ただ、それがかなわない時には、別の方策を考えなければなりません。どうか、各地区、各クラブの皆様方には、色々な方策をそれぞれ、検討していただきたいと思えます。それが次の時代のロータリー活動の大きな力の源になると思えます。

今こそ、ロータリーの真の力を発揮する時です。みんなで一緒に頑張りましょう。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 桑原 征一(新居浜RC)



第1地域 RRFC便り 8月号

ラビンドラン TRF管理委員長からのメッセージ

2020-21年度

K.R.ラビンドランTRF管理委員長



新しい年度が巡ってきました。私たちは本年度も、力を合わせてロータリー財団を発展、推進させるでしょう。現在、世界は大きな課題に直面しておりますが、皆さまにはリーダーとしての共通の目的意識をもってご支援いただき、心より感謝申し上げます。控えめに言っても、現在私たちは、これまでに類を見ない状況に直面していると言えます。コロナ後の世界で私たちが目にするのは、世界中が緊縮経済に突入するという厳しい現実です。人びとの生活を支えるさまざまな奉仕や支援活動のための資金は不足し、財団のファンドレイジングを行うにしても今は決して最良の時ではありません。しかしそれでも成し遂げなくてはなりません。皆さまのリーダーシップがそれを可能にします。

私たちは多くのニーズと機会に注意を向ける必要がありますが、それでもなお、皆さまには**年次基金の目標額1億3,500万ドルの達成**に力を注いでいただきたいと感じております。将来のためにも、この資金源を確保する必要があります。ご存知の通り、グローバル補助金はかつてないほどに必要とされ、国際財団活動資金(WF)は極めて大きなニーズに直面しています。だからこそ、年次基金と寄付に重点を置き、Every Rotarian, Every YearをRRFCの皆さまに奨励していただくことが以前にも増して重要となります。

人を支えることは、自分を支えることになるものです。そのため私は、7月初めにまずロータリー財団に寄付をします。皆さまにも同じことをしてほしいと感じております。額の多少は重要ではありません。皆さま一人ひとりが個人的に寄付をし、模範を示すことが、ロータリアンを鼓舞することになるでしょう。

年次基金寄付の大体30%は、ポール・ハリス・ソサエティ(毎年合計1,000ドル以上を寄付)のレベルに達している方々からのご寄付であることをご存じでしょうか。年度の始めにあたり、皆さまが担当されている地区のポール・ハリス・ソサエティ会員をご確認ください。その際は、財団職員が皆さまに支援を提供いたします。地区ガバナーには、ポール・ハリス・ソサエティの推進を呼びかけてください。また、皆さまの知人・ご友人がソサエティ会員となった場合は、皆さまから感謝の言葉をお伝えいただき、皆さまご自身がまだソサエティ会員でないようであれば、ぜひ入会をご検討ください。ポール・ハリス・ソサエティレベルのご寄付は極めて重要なものです。寄付者との強いパイプを作り、また関係を育み、メジャードナーとなっていただくことができれば、今後何年にもわたり多大なインパクトをもたらすことができるでしょう。

一人ひとりがコミットメントを果たすことで、チームワークが醸成され、企業や社会は前進し、市民社会が構成されるものですが、

これは私たちの取り組みにも当てはまります。この一年、皆さまと共に活動することを楽しみにすると共に、皆さまのご活躍とお力添えに心から感謝いたします。末筆となりますが、皆さまのご健康と安全をお祈りいたします。

敬意を込めて

2020-21年度ロータリー財団管理委員長 K.R. ラビンドラン

国際財団活動資金(WF)の最低授与額の廃止

グローバル補助金のためのWFの最低額が、即時有効で廃止となります。現在、グローバル補助金では、最低予算が30,000ドルで、WFの最高授与額が40万ドルとなっています。これは、申請者が地区財団活動資金(DDF)、現金、および/または冠名指定寄付と恒久基金の収益を組み合わせることでグローバル補助金に充てることができることを意味します。財団は、すべてのDDF寄贈に対して同額のWFを提供します。この新たな方針により、WFから15,000ドルを受領するために少なくとも15,000ドルのDDFを確保する必要性に縛られることなく、申請者はグローバル補助金のための資金を調達することができます。例として、この新しい方針の下では、次のような方法で資金を調達できます:
DDF10,000ドル+WF10,000ドル+現金拠出10,000ドル=グローバル補助金30,000ドルまたは
DDF5,000ドル+WF5,000ドル+現金拠出20,000ドル=グローバル補助金30,000ドル

(7月23日にK.R.ラビンドランTRF管理委員長からのメールより抜粋いたしました。)

補助金に関するリソースをご活用ください

補助金関連に役立つリソースがロータリー財団から届いております。お役立て願えましたら幸甚に存じます。

- **グローバル補助金ガイド** : グローバル補助金の申請に関心のある会員や、より効果的で持続可能性の高いプロジェクトを実施したいと感じている方に役立つガイドです。研修用リソースとしてもお使いいただけます。
- **重点分野の基本方針** : 各重点分野の詳しい要件をご確認いただけます。
- **地域調査の方法** : グローバル補助金の要件である地域調査においてクラブが参考とできるヒントやリソースを紹介しています。
- **補助金管理セミナーの学習プラン** : ロータリーの**ラーニングセンター**にあるこの学習プランには、クラブの補助金への参加資格認定、地域社会調査の実施、効果的なプロジェクトの計画、プロジェクトを持続可能にする方法、補助金資金の管

理、補助金の報告など、さまざまなオンラインコースが取られています。地区は、直接顔を合わせるセミナーの代わりにこれらのオンラインコースを利用するか、補足として利用することもできるほか、クラブの参加資格認定を行う目的で、ラーニングセンターのレポートを活用することもできます。

- 地区を成功に導くリーダーシップ：ロータリー財団委員会編**：財団関連の委員会・小委員会の構成や補助金・プログラムの種類について説明した手引きです。
- ロータリーの補助金担当職員**：補助金関連のご質問にお答えします。
2020-21年度版寄付・認証ロータリークラブの手引きが新たに発行となっています。

グローバル補助金のパートナーを見つけるためのリソース：

- フォーラム**：交流を通じてプロジェクトのアイデアを学んだり、支援を要請することができます。
- ロータリー行動グループ**：特定分野の専門知識を有するロータリアンやその他のメンバーから成るネットワークで、専門的見地から奉仕プロジェクトへの助言や支援を提供します
- 国際共同委員会**：複数の国のロータリークラブや地区が参加するネットワークで、国際奉仕プロジェクト、新クラブの結成、そのほかの活動を行っています。
- プロジェクトフェア**：地元地域で実施される奉仕プロジェクトを紹介し、クラブ間の国際協力を促進するための機会となります。
- ロータリー親睦活動グループ**：共通の関心・趣味・職業を土台として結成されるグループです。
- 寄付&補助金ニュースレター**：ファンレイジング、補助金、関連トピックの最新情報やリソースを紹介したニュースレターです。

ポリオ担当チームが 新型コロナウイルスへの対応を支援

ポリオリソースセンターから入手できます。ポリオ根絶プログラムではこれまで、ポリオウイルスの特定やワクチン配布キャンペーンを通じて大規模なインフラを築いてきました。各国のポリオ根絶担当チームは、このインフラを新型コロナウイルス(COVID-19)への対応に活用することで、感染リスクにさらされやすい人、特にポリオ常在国の人びとを新型コロナウイルスから守るべく支援に乗り出しています。パキスタンやナイジェリアといった国では、何十年ものポリオ根絶活動の経験が、政府による新型ウイルス対策の支援に役立てられています。ポリオプラス基金への支援、ロータリー財団への支援はオンライン寄付がとても便利です。全てのロータリアンにお勧めします。ぜひご利用ください。



poliorefresh_943_letter_ja.pdf

PHSの集いの札幌開催を企画

新型コロナウイルスCOVID-19の影響を受けて、2020年4月25日に札幌市において開催を予定しておりましたブラック・タイ・パ

ーティーについて全国各地からお問い合わせを戴いておりました。皆様で開催延期のお知らせの後でも、延期時期が決定したら直ぐに連絡をお待ちしていますと、お声掛けを下された皆様の厚い友情を忘れることが出来ません。そこで、我が第1地域の財団チームで少し気軽なPHSの集いに向けて検討を開始しました。(PHSの認証を兼ねた集い)

決定ではありませんが、日程が分かれば有難いとお声もありましたので、概要をお伝えしたいと思います。冒頭ラビンドランTRF管理委員長のメッセージにPHS(ポール・ハリス・ツサエティ)年次基金寄付の17.3%は、ポール・ハリス・ツサエティ(毎年合計1,000ドル以上を寄付)のレベルに達している方々からのご寄付であることをご存じでしょうか。地区ガバナー・地区財団委員長・地区ガバナー・エレクトの皆様で、もしPHSのメンバーでない方は是非この機会にPHSのメンバーになられますことを切望いたしております。そして来年4月の「PHSの集い」には御同伴で札幌にご集合をお願いできましたらこの上ない幸せでございます。

【概要について】

ウエルカムバーベキューパーティーのご案内

日時:2021年4月24日(土)午後6時開会(30分前のご集合)
場所:札幌ビール園

(札幌市東区北7条東9丁目 TEL.011-207-8000)

「PHSの集い」認証式と気軽なランチ

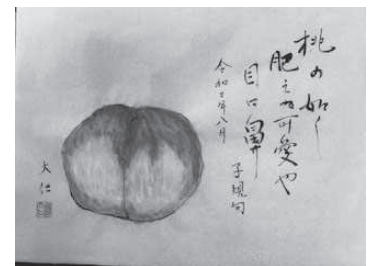
日時:2021年4月25日(日)
午前11時開会午後1時30分閉会
場所:プレミアムホテルTSUBAKI札幌
(札幌市豊平区豊平4条1丁目)
会費:1万5千円(前日札幌ビール園にて
ウエルカムバーベキューを含む)

財団支援:会費の一部をポリオプラスの支援に充てる予定です。



白桃に子規の句を添えて暑中お見舞い申し上げます

子規の柿好きは有名でした。日本の句を代表する句に「柿食えば鐘なるなり 法隆寺」がありますね。子規は若い頃結核を患い、脊髄カリエスを患いました。身体が熱い時には柿が熱を下げる作用



子規は桃も好きだ!

があると聞いたことがあります。それで好きだったのか、桃も喜んで食べたことが伺えます。子規の生涯は34歳という短いものでした。30歳ころ自身の俳号にちなんで「ホトギス」を創刊しました。ここで与謝蕪村の研究を行い、俳句の普及に貢献しました。子規の弟子には高浜虚子や河東碧梧桐などがいました。子規が優れた俳人を育成した事に注目しています。何度も出てきますが、夏目漱石も子規に俳句の手ほどきを受けた一人です。今回の句は「桃の如く 肥えて可愛や 目口鼻」この句を連想しながら少し丸々と肥えた顔を意識して描きました。目口鼻まで思い起こす表情を感じて戴けましたら嬉しく思います。(羽部)

地区ガバナー補佐会議・会員増強セミナー開催

地区幹事 石川 信行

去る7月26日(日)札幌パークホテルにて、「地区ガバナー補佐会議」及び「会員増強セミナー」が開催されました。本来であれば、それぞれ午前・午後に開催するのが通例ですが、今回は新型コロナウイルス感染症対応ということで、午後から時間短縮での開催となりました。ガバナー補佐会議では、第2510地区の長谷川大介ローターアクト代表(赤平RAC)から第33回全国ローターアクト研修会の進捗状況が報告されました。先行きが見通せない昨今ですが、様々な想定の下しっかりと準備を進められていました。

その後に開催された会員増強セミナーの参加対象者は各クラブの会長および会員増強委員長ですが、今回は新型コロナウイルス感染症対応ということで、YouTube配信を視聴してもらうという形式となりました。講師に元第1ゾーン・ロータリーコーディネーター補佐(PG)の坂本元彦氏(第2570地区・富士見RC)をお招きし、会員増強についてご講演いただきました。その後、武部實地区会員増強委員長(PG)から地区の会員増強についてご講演いただきました(両氏の講演については、講演録を掲載いたします)。また休憩をはさんで第2510地区の「これからの会員増強について」と題し、嵯峨義輝地区研修委員(PG)、岡崎芳明地区クラブ奉仕委員長、玉井清治地区職業奉仕委員長の3名よりご講演いただきました。本セミナーの動画は地区ホームページから閲覧可能ですので、ぜひご覧いただければと思います。



国際ロータリー 第2510地区 2020-21年度 地区会員増強セミナー

講演「会員増強について」

国際ロータリー 第2570地区(富士見RC)
元第1ゾーン・ロータリーコーディネーター補佐(PG)

坂本 元彦



RI2510地区 増強セミナー

RI2570地区(埼玉西北)富士見RC
坂本元彦

R2570地区埼玉西北の坂本です。今日一日よろしくお願ひします。

ロータリーの会員増強とは

- 1) 増→数を増やす
- 2) 強→質を高める
「増強＝数も増やし質も高める事、数と質の問題点」
- 3) 会員維持:特に新会員を辞めさせない事
- 4) クラブの拡大:(衛星クラブ、ローターアクトクラブ等)

※なぜ増強が必要かを理解する事が大切
※増強するための動機づけが大事

ロータリーの会員増強は「増強」ですのでから、数を「増」やす他に、「強」くするわけですから質も高めるということになり

ます。ここで問題になるのは数と質の問題点です。また新会員は入会3年以内に辞められるケースが多いので、新会員を辞めさせない、ということも重要になります。また衛星クラブやローターアクトクラブを作る、ということも必要かと思ひます。また何よりロータリアン各人がなぜ増強が必要かを理解することが大切です、その動機付けも大事です。

2017年戦略計画アンケート結果での増強を考える部分

- 1) 理想の会員像は、現在の会員の年齢層より若い
- 2) 女性と若い会員は多くの女性や若い会員を望んでいる
- 3) 会員の「多様性」が重要
- 4) 多様性の最も重要なタイプは会員の職業、考え方や意見
- 5) 女性ロータリアンの70%がリーダーの少なくとも30%が女性であることが重要であると回答している
- 6) 30代の会員の73%がリーダーの少なくとも30%が45歳未満であることが重要であると回答している
- 7) 戦略計画を立案すればするほど、会員の満足度が高まる
- 8) かなりの割合のロータリアンが、変化のスピードに苛立ちを感じている

上記スライドは2017年の戦略アンケートの結果でRIは3年ごとにアンケートを取っていますが、増強に関する部分です。スライドのようなことが正しい正しくないは別として、意見として出ています。

増強の必要性について(ロータリー章典2020年1月)

- 1) 第5条10項3
クラブは、会員資格を備えた元ローターアクターやその他の若年の会員候補を探し出すべきである
- 2) 第5条30項
ポリオ撲滅が今後も国際ロータリーの対外的な最重要事項である一方、内部においては、会員増強が最重要事項であるという貫いたメッセージを確認する
- 3) 第17条10項3
全ての地区に少なくとも75クラブ、2700名の所属ロータリアンを擁する努力をするよう推奨している
($2700 \div 75 = 36$ 、1クラブ平均36人)

上記スライドでは、増強の必要性についてロータリー章典を引用しましたが、第5条10項3において若年の会員候補を探すこと、第5条30項にロータリー内部では会員増強が最重要であるというメッセージを送ること、第17条10項3では数値目標が掲げられています。

2019年度規定審議会における会員身分の決定(変更)

- 1) 公職に就いても正会員になれる
- 2) クラブは職業人中心でなくてもいい
- 3) 同じ職業分類での会員数の制限の撤廃
(5人以上、10%以上)
- 4) ローターアクトクラブはRIへ加盟申請できる
(ローターアクト数153,232)
今の所、人等分担金は払わなくてもいい、
ID番号も与えない、但し理事会で可否は決定できる

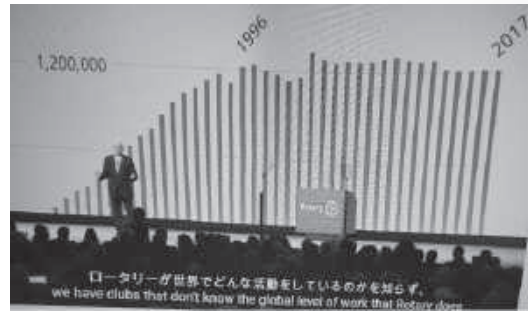
昨年の規程審議会では「公職についていてもよい」「職業人中心でなくてもよい」「職業分類の会員数の制限の撤廃」となりました。職業分類の会員数の制限の撤廃は多様性の面で問題があるかもしれませんが、そのような決定がなされたということです。

2019年度規定審議会での見解

- 1) 今回の規定審議会で今後5年間は会員は120万人と想定している
- 2) 会員増強と人等分担金とは関連性があると発信している
- 3) 会員増強・維持が出来なければ、クラブや地区は徐々に衰退する
- 4) クラブ活性化の源は会員増強でクラブ存続のため必要不可欠である

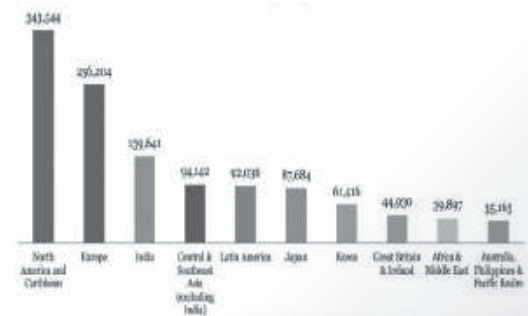
上記のスライドは規程審議会でのRIの役員の発言を拾ったものです。RIでは今後5年間会員数は120万人程度で増えないとみえています。その場合人頭分担金は増えることになり、会員増強できればそうならない、という見解です。また増強維持ができなければクラブや地区は徐々に衰退するので、クラブ活性化のために会員増強は不可欠である、というのはRIの共通認識です。

このグラフからもわかる様に
ここ20年間世界のロータリーは120万人のレベルで一定している



上記スライドを見てもらっても会員数が120万人で横ばいなのが理解できると思います。

世界のロータリアン数(2018年7月1日現在)



上記スライドは世界のロータリアン数です。北アメリカで34万人、二番目がヨーロッパで25万人。インドが多く14万人近くいます。日本韓国インドを除いたアジアが9万4千人。ラテンアメリカが9万2千人で日本は8万7千人です。

世界のロータリーの現状(2018年7月1日現在)

- *ロータリアン数: 1,195,107人
- *ロータリークラブ数: 35,681
- *ロータリー地区数: 538
- *クラブについて
 - 平均クラブ会員数: 33
 - 会員数が25名以下: 16,290
 - 会員数が20名以下: 11,497
 - 会員数が15名以下: 6,525
 - 会員数が10名以下: 2,577
 - 会員数が5名以下: 377
 - 衛星クラブ数: 696 (推定ロータリアン数: 3,800)

上記スライドは少し資料が古いですが、世界のロータリアンの状況です。下段は少ない会員の少ないクラブを抽出しました。第2570地区でも会員数3名というクラブがありますが、世界には5名以下のクラブが377もあるということです。この数字をどうとらえるかは色々な考え方がありますが、5名以下になってもロータリー活動を存続していこうという強い意志のあらわれ、と考えることができると思います。ですので、我々もロータリーをよくするために会員を増やしていこう、ととらえるべきかと思います。

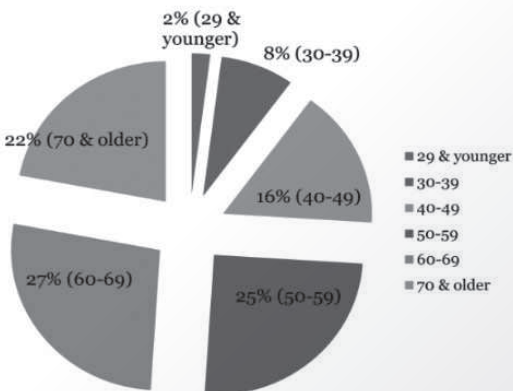
地区について

- 538地区
- 1,100名以下:38(大半が北米、ラテンアメリカ、ヨーロッパ)
- クラブ数が55未満の地区:187
- 最も小さな地区のロータリアン数:667名、クラブ数:41クラブ
- ロータリアン数が最多の地区は第3630地区(韓国)で、6439人
- クラブ数が100より多い地区:32(うち13がインド)
- クラブ数が最多の地区は第3281地区(バングラディッシュ)で204クラブ
- ロータリアン数とクラブ数の平均:2,219人、66クラブ
- 女性:277624人(23%)、女性ガバナー:114人(21%)
- 年齢構成:70歳以上/22%、60~69歳/27%、50~59歳/25%、40~49歳/16%、30~39歳/8%、29歳以下/2%

※データによっては2018年7月1日現在と異なっている可能性があります。

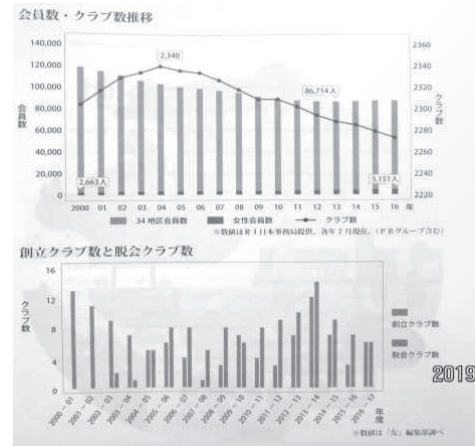
上記スライドは世界の地区の状況です。クラブ数が最多の地区は第3630地区の韓国です。クラブ数の最多の地区はバングラディッシュ。ロータリアン数とクラブ数の平均は2,219人66クラブとなっています。女性の比率は会員数で23%、ガバナー数で21%となっています。

ロータリアンの年齢(推定)



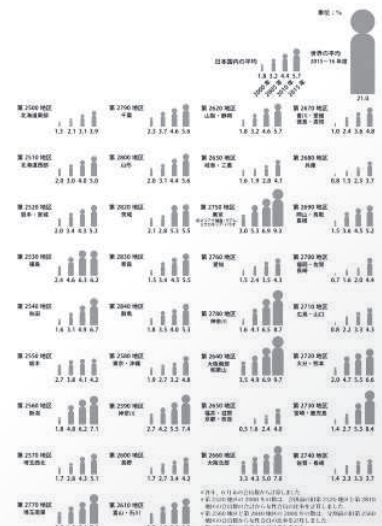
次のスライドは年齢構成を円グラフにしたものです。ざっくり言うと、70歳代、60歳代、50歳代、40歳代の各世代が4分の1ずついるという感じになっています。日本では40歳以下が8%ですので、少し違った感じですが、世界的にはこのような感じです。

データで見る日本のロータリー



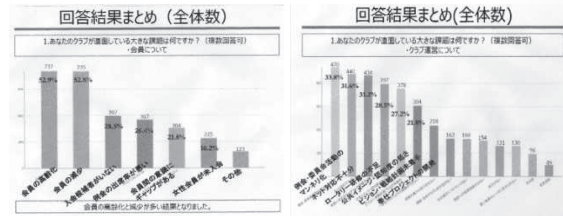
上記スライドは以前ロータリーの友に掲載された「データでみた日本のロータリー」です。会員数・クラブ数ともに減少傾向にあるのが見て取れます。グラフの下の方にある赤部分が女性会員数ですがこちらは倍くらいになっています。下の図は創立クラブと脱退クラブを表にしたものです。2000年ころは脱退するクラブはほとんどなかったのですが、最近では創立より脱退の方が多いい年もあります。

地区別女性会員数の割合



こちらもロータリーの友に載った女性会員数の地区別の割合です。第2510地区は約5%。一番大きいこけしは世界全体の割合21%を示しています。一番高い地区は第2640地区で9.7%で、最新は第2750地区が11%になったようです。平均は5.6%で世界平均に比べるとまだまだ少ないと思います。

あなたのクラブが直面している 大きな課題はなんですか？ 会員について・クラブ運営について



こちらはアンケートで「あなたのクラブが直面している大きな課題はなんですか」という質問に対する回答です。「会員について」という項目で会員の高齢化とか会員の減少がおおきな課題になっています。3番目として入会の候補者がいないというも挙げられています。

日本のロータリーに対する シニアリーダーの現状認識

年度終了時のガバナーに対する
意識調査より(2016年6月実施)

1. 会員減少に対する危機感
会員増強に対する倦怠？感
2. 会員の高齢化。
若い会員、女性会員を勧誘できない。

日本のロータリーに対する
シニアリーダーの現状認識

3. クラブ組織・地区組織の硬直化、
改革の遅れ
4. 新しい奉仕プロジェクト開発の遅れ
5. ネット社会への対応の遅れ
6. RIの変化についていけない
伝統的なロータリー観のクラブ
7. RIに対する発信力・影響力の低さ
RIの方向性に対する疑問

同じようなアンケートがシニアリーダーに対して行ったものがあります。年度終了時のガバナーに対して行ったもので2016年6月に実施したのですが、会員増強に対する危機感が一番に挙げられています。確かにクラブ会長さんに聞いても「会員増強しても入ってこないの、疲れてしまった」という

答えが出てきたりして、倦怠感がでてきているようです。会員の高齢化、若い会員、女性会員を勧誘できない、組織の硬直化・改革の遅れも問題意識もありますが、リーダーは変えなくてはいけないと思います。

増強に対する日本チームの方針

- ・会員増強目標について、2020年までに10万人を目指す
- ・次のゾーン再編時を見据えて2022年までに105千人(3ゾーン体制を目指す、RI理事を常時2人に復帰したい)(2019年7月より3ゾーン→2.5ゾーンに縮小)(1ゾーン:35,000人必要)
- ・女性会員比率を2022年までに少なくとも15%以上にする(現在は5~6%、トップは2750地区の11%)
- ・若い会員の増強を行う
- ・地区、クラブでの入会前後の教育、セミナーを強化する(増強及び維持)

次のスライドは増強に対する日本チームの考え方です。日本の指導的立場にある方がどのように考えているかというところと現在日本は3ゾーンから2.5ゾーンに縮小されています。理事2名体制に復帰するために1ゾーン3万5千人として10万5千人はほしいと考えており、現在は9万人を切っているが、そこを目標にしたいと考えています。それから女性会員比率を15%以上さらに若い会員の増強をすることも重要であると考えています。

増強の一般的な方法

- 1) 会長や増強委員長、クラブ会員の頑張り
(歴代会長の意気込みが大切)
- 2) 職業分類の大切さ(地域の情報を集める)
- 3) 会員の多様性の調査(多様な会員を集める)
- 4) 会員候補者情報(会員候補者探し)
- 5) 会員維持調査(会員維持力アップ)
- 6) 会員満足度調査(会員満足度アップ)
- 7) 退会者アンケート(退会の理由の理解、分析)
- 8) 現会員の研修が最も必要である
(質のアップが数のアップに繋がる)

増強の一般的な方法については、皆さんご存じのことだとはおもいますが、スライドに記載させてもらいます。大切なのは何よりも会長・増強委員長の頑張りですが、他の会員が他人事のように見ていると結果は出ません。クラブ全員で頑張るのが大切です。歴代会長がそのようにしていればクラブ全体がそうなると思います。代々頑張っていないと、まあいいか、ということになるのかもしれませんが。それから職業分類や会員の多様性の調査も重要です。当然会員候補者探し、会員維持緑アップ・会員満足度調査も重要になります。また、退会者のアンケートを取ることで、退会理由の理解分析が可能になります。そして現会員への研修は最も必要なことと言えるでしょう。

具体的な増強例(2例)

1) RI2770地区大宮RC

(42名→3年後85名→7年後113名)

1人のパスト会長の発案で始まった増強である

- ①1人が1人の増強目標
- ②業種に関係なく30～40代の若手経営者を積極的に勧誘
- ③勧誘時理念と共にビジネスチャンス(相互扶助)アピール
- ④新会員教育、歓迎会を年に数回実施
- ⑤中堅会員を対象としたお酒のあるロータリー塾の開催

2) RI2570地区坂戸さつきRC

会長のやる気で8名増強(44.4%)出来た

入会経緯:7月2名、8月2名、9月1名、10月1名、
11月1名、2月1名

- ①会長は常にロータリーのパンフレットと
入会申込書を持ち歩き、これらと思う人を勧誘した
- ②会長のやる気が他の会員に伝わり退会者の再入会
- ③新会員が新会員を勧誘し1名入会
- ④夜間例会日を4回→2回とした(新会員が入りやすい)

ここで、具体的な増強例について大宮西RCと坂戸さつきRCの2例を紹介しますので、お読みいただければと思います。

RI2660地区 RI会長代理ビチャイ・ラタクル氏 スピーチ(2010.2.26)

どのような理由であれ、会員の現象が続けば、ロータリーの終焉も遠くないかもしれません。しかし、会員増強については、会員数の増加より、会員になるために必要な要件の重要性をしっかりと忘れてはなりません。皆様の中には、その考え方は全く間違えた、より多くの会員が必要だ、若い経営者の会員が必要だ、新たな活力が必要だ、と反論されるかもしれません。しかし、新規会員は、会員資格を満たし、今までと同じ教育やプレセスを経て、初めて会員になっていただなくてはなりません。私たちは少しでも多くの新規会員を求めますが、その目的は決しエバンストン本部の運営費の財源とするためではありません。その目的は、必要とされる人々に奉仕をする本当の意味でのロータリアンを増やし、ロータリーのイメージを更に向上させるためであります。

したがって、私は、ロータリー組織の最大目標を会員増強でなく、会員入会資格に焦点を当てる時期に入ったと思います。量と質は密接な関係がなければなりません。

スライドで紹介したビチャイ・ラタクル氏のスピーチは感銘深いものがあります。詳細はお読みいただければと思います。ラタクルさんは質を高めることが重要だと言っていますが、私もまったくその通りだと思います。

結語

- 1) 会長、増強委員長、会員のやる気
- 2) 動機づけ(クラブ、地区、日本、世界)
- 3) 行動(奉仕活動)を行う(行動から感動が生まれる)
- 4) 年度の前半で勝負(単年度制)→(複数年度制)
- 5) 女性(目標2～3倍)
- 6) 若者(ローターアクター等)
- 7) 退職者(人生100年時代、80歳で入会例あり)
- 8) 外国人(国際的、多様性)
- 9) 新会員のフォロー(教育)
- 10) 衛星クラブ(入会しやすい)

ご静聴ありがとうございました

最後に結語としてまとめたいと思います。まずは会長・増強委員長のやる気、そして動機付けが重要です。それから行動を行うことが何より大切です。また単年度ですから前半が勝負といえるでしょう。また女性・若者もターゲットですし、退職者も重要なターゲットといえるでしょう。外国人もどんどん入れるようにがんばった方がよいと思います。こういう困難な時代ですので、だからこそ増強を頑張っていたいただきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。





地区会員増強委員長(PG)

武部 實
(札幌南RC)

まず、皆さんは自分のクラブに満足していますか。していなければ会員増強などはできません。増強に必要なことは入会勧誘資料を一式整えておくことです。入会勧誘資料があれば、入会3年未満の会員であっても、会員増強活動に参加することができます。若い会員が若い人を誘うことにより、クラブの活性化が期待できるのです。

次に「ロータリーはどのような団体なのか」と聞かれたら説明しなければなりません。私はロータリーに入会して37年になりますが、私の答えはこうです。「奉仕の心を持つ多少恵まれている人たちが、世界中の多くの恵まれない人たちのために支援する組織であって、会員一人一人の支援は小さいけれど、世界中のロータリーがまとまると、とっても大きな支援になる」と答えます。ロータリーをこのように理解しているだけで十分だと思います。ご承知の通り3年間財界さっぽろに2ページに渡り、ロータリークラブを無料で取り上げてもらいました。私は地方のロータリークラブの様々な奉仕活動を第2510地区の会員に知っていただく、さらには道民の皆様にロータリーを理解していただく、そんな思いでロータリアンの舟本社長にお願いして実現した企画です。掲載された地区内70クラブの奉仕活動をいよいよ小冊子として出版することになりました。表紙に「ロータリークラブは何をしている団体?」、と書きました。私たちがだけがロータリーに惚れ込んでいただけではいけないのです。他の人はロータリーとは何なの?と思っているのです。逆手にとってそのように書きました。8月刊行予定です。5,000部を用意し、各クラブ会員数の1.5倍分を配布予定ですので、ぜひ会員増強にお役立てください。

また、会長・幹事の努力がなければ会員増強は無理です。そこでこういう企画を立ち上げました。一枚物で、ロータリーの世界・日本・地区内・クラブの奉仕活動を紹介するフォーマットを作成しました。9月中にお配りします。これを活用するかどうかはクラブの自由です。ぜひご期待ください。

会員増強委員会のあり方ですが、顔の広い有力者を会員増強委員長にするのは間違いです。有力者と言われる方々は、私と同じ世代であり、8時・9時には寝ているのです。30・40・50代の若い世代に期待をし、若い会員の友人、知人の入会が、クラブの若返りと活性化につながると思っています。右を見て、左を見て自分たちと同じ肩書を

持つ人達ばかりが、会員増強の候補ではありません。ましてや全会員の賛成がなければ入会させない上から目線では、会員増強など不可能です。入会条件の厳しい垣根を取り省き、やんちゃな青年達に目を向けるべきです。私たちにもやんちゃな時代がありました。問題意識を持っているからこそ、やんちゃに見えるのです。やんちゃでなければ活性化は期待できないと思います。入会条件は、理事会多数決で十分だと思うのです。

さて、最後になりますが、どういう人を入会勧誘の対象とすべきかイメージをしてみてください。皆さん、目をつぶってください。私が読み上げますので、思い当たる人を想像してみてください

- 1、あなたの信頼している人を思い出してください
- 2、あなたに何人親友がいますか?
- 3、あなたの取引先を想像してください!誰か適任者いませんか?
- 4、あなたのまわりに社長を退任した方はおられますか?
- 5、会員同士、共通の友人はおられますか?
一人よりも二人で誘う
- 6、友人のライオンズクラブ会員のご子息、後継者はどうでしょう。
- 7、同じ趣味(麻雀、囲碁、小唄、カラオケ、ゴルフ)の仲間は?
- 8、同業の協会員仲間は穴場かも同業仲間は心強い。
- 9、入会していない、支社長、支店長、幹部社員を探してみましよう。
- 10、町内会或いは同じビル内に気になる人がおられますか?
- 11、幼馴染は今何をされているでしょうか?
- 12、退会された会員は今どうしているか?
もう一度誘ってみては。
- 13、退会された会員のご子息或いは後継者。
- 14、ご逝去された会員のご子息或いは後継者。
- 15、その他(兄弟、妻の友人、知り合い、後輩、行きつけの各お店…)

いかがでしょうか。一人二人は想像できたのではないのでしょうか。是非行動に移ってください。会長・幹事会員一人一人の努力が必要です。国際ロータリーの様々な資料からロータリーを学ぶことを私は否定しません。しかしわが地区にも生きた教材としての素晴らしい奉仕活動があります。是非身近な活動を参考にし、地域に貢献し、会員増強に繋げていただきたいと思います。ロータリアンはお金持ち、偉い人、ステータスではありません。夫々の地域と共に活動する仲間達でなければロータリークラブは理解されないと思います。財団を通じたグローバルな世界への奉仕活動も大切ですが、主催者である必要もなく、与える活動でもなく、地域の活動に参加して、地域とともに活動することによって、ロータリーの意義とロータリーの存在を知っていただき、会員増強に繋げることを期待いたします。ご清聴ありがとうございました。

ロータリー 探訪



急速に変化する ロータリー

地区職業奉仕委員会 委員長

玉井 清治 (函館亀田RC)

30年ほど前に私は会社の先輩から「手紙というものはワープロなんかで作るものではない!」と手書きの大切さをよく聞かされたものです。自ら筆を取ること、相手に対しての礼儀や心の感情を伝えることが美德とされていました。受け取る側も「あの人から届いた」という新鮮な驚きと、好意や感謝の気持ちが生まれ、文字から人肌や人間味を感じて温かい気持ちになりました。ところが今はどうでしょう?パソコンのメールやSNSなど、ほとんど「手で書く」といった行為は無くなってしまい、むしろキーボードから入力された文字は整然としてきれいで、手書きは個性と文字の乱れがおもむろに出て避ける人も少なくないと思われるのが現状です。時代は変わりました。

今回の新型コロナウイルスによる影響で人々の生活様式も急速に変わり、ソーシャルディスタンスやマスクの着用、3密を避けるなどロータリークラブの運営も従来型の例会から新しい形に変化せざるを得ないものとなってくるでしょう。RI(国際ロータリー)ではロータリアンの健康と安全を守ることを最優先とし、ZOOMなどのオンラインでの会合を推奨しています。「私はZOOMなんかできない」などと言っているのは、この急速に変化するロータリーから取り残されてしまうかもしれません。確かにface to faceは必要で、真の親睦を形成するには不可欠です。しかし皆が感染を避けて例会への出席者が少なくなった場合、少人数で通常例会を開催するのか、感染防止策を取ったオンラインにて安心して参加者を増やし、例会を開催するかは、クラブの将来を考えれば答えは明らかだと思います。

急速に変化するロータリーですが、過去を振り返ると出席規定では、1995年のメイクアップ期間の延長、1998年の奉仕活動の実践が例会出席の補填となり、更に2001年にはクラブ理事会・クラブ主催の地域行事や会合に参加しても可能になるなど緩和の一途を辿り、昨年には年度内でのメイクアップが可能となりました。会員制度では2001年の一業一会員制の廃止、2013年の仕事をしていない人も入会可能になり、昨年には職業分類の制限が廃止となりました。

この劇的な変化に私たちロータリアンは、その都度「ロータリーはどこへ行くのか?」と言いつつも、その流れに逆らうことなく現在までロータリー運動を続けてきています。

この度の新型コロナウイルスでの急速に変化するロータリーに「まった!」はできません。レスポンスの早さと変化への正確な対応は急務のような気がします。世界的な人道支援の方向転換、地域社会への奉仕の方法、職業奉仕活動へのクラブとしての支援、永続的なクラブ運営への財務基盤の強化、例会の活性化など各ジャンルすべてで再検討するタイミングなのではないでしょうか。

イギリスの自然科学者チャールズ・ダーウインは著書「種の起源」で、最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残るのは、変化できる者であると、環境の変化に対応する重要性を説いております。

変化に対する失敗を恐れず、慣例に踏襲することなく前へ進むうではありませんか。クラブのために!そして、自分のために。

2023-2024年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 福井 敬悟
地区ガバナー指名委員長 国立 金助

2023-2024年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16.010.節～第16.020.節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第12条(ガバナーの指名と選挙)
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)
2019年手続き要覧抜粋

ICT委員会からお知らせ

My ROTARYがリニューアルされました!



さあ、更新されたマイロータリーを使い始める準備はできましたか?

新しいサイトにアクセスするには、My Rotaryアカウントにサインインする必要があります。

※登録前に、事務局からMyRotaryに会員情報が入力されているかご確認ください。

まだ、My Rotary のアカウントを持っていないという方は、この機会に是非、登録をお願いします。

国際ロータリー第2510地区のホームページに、My Rotaryの登録方法を詳しく掲載しています。アクセスしてご確認ください。

<http://rid2510.org/2021/>



特徴

- ①より使いやすくなったデザインとインターフェイス
- ②携帯機器でアクセス可能
- ③クラブや地区情報など個人用にカスタマイズされたホームページ
- ④より充実した会員プロフィールと検索機能で会員同士のつながりを促進
- ⑤より詳細なプライバシー設定により共有する個人情報をより良く管理
- ⑥検索フィルタを使って使用言語、場所、例会の種類別にクラブを検索することが可能

ICT委員会 委員長 堀元 雅司

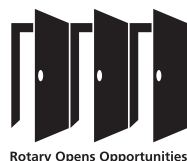
新型コロナウイルス拡大に伴う

2020-2021 国際ロータリー 第2510地区

地区大会

開催延期のお知らせ

ロータリーは
機会の扉を開く



地区大会
実行委員会
より

新型コロナウイルス感染
拡大防止を鑑み、
参加者および関係者の皆様の健康と
安全面を第一に考慮した結果、
以下の期日に延期することに致しました。

2021年5月15日(土)・16日(日)

札幌パークホテル

札幌市中央区南10条西3丁目1の1 TEL:011-511-3131 (代表)

- 1日目…会長・幹事会／地区指導者育成セミナー／RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
- 2日目…本会議／スパウス／記念講演／記念懇親会

2021年5月17日(月)

地区大会記念ゴルフ大会

会場／小樽カントリークラブ

なお、今後の状況次第では中止せざるを得ない場合もございますので、
何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

地区大会実行委員長 池田 和陽

地区カレンダー 9月 ▶ 10月

9月 基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間	
1 火	公式訪問（伊達RC、室蘭北RC）
2 水	公式訪問（室蘭東RC）
3 木	公式訪問（室蘭RC、登別RC）
4 金	
5 土	
6 日	
7 月	
8 火	公式訪問（札幌はなますRC、北広島RC）
9 水	公式訪問（余市RC）
10 木	公式訪問（岩内RC）
11 金	
12 土	
13 日	
14 月	～15日(火) 第1回ガバナーエレクト研修セミナー（zoom会議） 公式訪問（蘭越RC）
15 火	公式訪問（札幌清田RC）
16 水	公式訪問（静内RC）
17 木	
18 金	
19 土	
20 日	
21 月	敬老の日
22 火	秋分の日 札幌西RC創立60周年記念式典
23 水	公式訪問（新札幌RC）
24 木	公式訪問（札幌西北RC）
25 金	
26 土	
27 日	
28 月	
29 火	
30 水	

10月 経済と地域社会の発展月間 米山月間	
1 木	
2 金	
3 土	地区大会：延期
4 日	地区大会：延期
5 月	
6 火	公式訪問（赤平RC）
7 水	公式訪問（札幌モーニングRC）
8 木	公式訪問（千歳RC）
9 金	
10 土	
11 日	
12 月	
13 火	公式訪問（白老RC・苫小牧北RC）
14 水	公式訪問（札幌真駒内RC）
15 木	公式訪問（札幌東RC）
16 金	
17 土	
18 日	
19 月	公式訪問（札幌南RC）
20 火	公式訪問（岩見沢東RC）
21 水	
22 木	公式訪問（岩見沢RC）
23 金	公式訪問（苫小牧RC）
24 土	
25 日	
26 月	公式訪問（札幌北RC）
27 火	公式訪問（小樽RC・千歳セントラルRC）
28 水	
29 木	公式訪問（江別RC）
30 金	
31 土	

2020年9月のロータリーレートは地区HPをご覧ください。

会員数・例会回数報告

グループ	クラブ名	例会回数	会 員 数			
			2020.7.1	2020.7.31	増減	内女性
1	深 川	3	33	33	0	1
	羽 幌	3	42	42	0	2
	妹 背 牛	4	7	7	0	0
	留 萌	4	27	27	0	4
	小 計		109	109	0	7
2	赤 平	3	20	20	0	2
	芦 別	3	29	29	0	2
	砂 川	4	39	39	0	1
	滝 川	4	81	84	3	5
	小 計		169	172	3	10
3	美 唄	4	24	24	0	0
	江 別	4	35	36	1	1
	江 別 西	4	36	36	0	4
	岩 見 沢	4	90	91	1	1
	岩見沢東	3	15	15	0	2
	栗 沢	5	18	18	0	1
	栗 山	3	26	26	0	5
	当 別	3	28	28	0	0
小 計		272	274	2	14	
4	札 幌	4	125	133	8	1
	札幌はまなす	3	16	16	0	2
	札 幌 北	3	43	43	0	5
	札幌モーニング	4	35	35	0	0
	札 幌 西	3	51	50	-1	10
	札幌西北	4	34	34	0	3
	札幌手稲	3	36	38	2	4
	小 計		340	349	9	25
5	札 幌 東	4	112	112	0	0
	札幌清田	3	11	11	0	3
	札幌幌南	4	51	51	0	0
	札幌真駒内	4	20	21	1	5
	札 幌 南	3	86	87	1	2
	札幌大通公園	2	12	13	1	3
	札幌ライラック	2	16	16	0	5
	新 札 幌	4	25	27	2	5
	小 計		333	338	5	23
6	岩 内	4	23	22	-1	1
	倶 知 安	2	33	33	0	3
	小 樽	4	71	70	-1	4
	小樽南	4	64	65	1	3
	小樽銭函	3	19	21	2	1
	蘭 越	4	8	8	0	0
	余 市	3	40	40	0	4
	小 計		258	259	1	16

7月会員増減数

クラブ数	70クラブ
期首会員数	2,493人
当月末会員数(女性)	2,533人(173人)
増加会員数	40人

グループ	クラブ名	例会回数	会 員 数			
			2020.7.1	2020.7.31	増減	内女性
7	千 歳	3	74	75	1	10
	千歳セントラル	3	43	43	0	9
	恵 庭	4	49	49	0	3
	北 広 島	3	15	15	0	0
	長 沼	3	17	17	0	3
	由 仁	2	8	8	0	1
	小 計		206	207	1	26
8	え り も	1	19	19	0	1
	三 石	4	11	11	0	0
	様 似	3	14	15	1	1
	静 内	3	67	67	0	4
	浦 河	2	27	28	1	3
	小 計		138	140	2	9
	9	伊 達	4	62	62	0
室 蘭		3	30	31	1	2
室 蘭 東		5	32	32	0	3
室 蘭 北		4	48	49	1	2
登 別		4	29	29	0	1
洞 爺 湖		2	12	12	0	1
小 計			213	215	2	11
10	函 館	4	68	76	8	3
	函館亀田	4	36	37	1	4
	森	2	33	33	0	0
	七 飯	2	14	14	0	0
	長 万 部	2	10	10	0	0
	函館セントラル	4	23	23	0	2
	小 計		184	193	9	9
11	江 差	2	10	10	0	1
	函館五稜郭	4	53	53	0	0
	函 館 東	3	35	38	3	9
	函 館 北	3	18	18	0	0
	北 斗	4	12	12	0	0
小 計		128	131	3	10	
12	白 老	3	31	32	1	3
	苫 小 牧	4	55	57	2	2
	苫小牧東	4	28	28	0	5
	苫小牧北	4	29	29	0	3
	小 計		143	146	3	13
合 計		2,493	2,533	40	173	

※岩見沢RCには岩見沢ネクストローターリ衛星クラブの会員数13名(内女性会員0名)を含む

新型コロナウイルス対策

1. ロータリーの規則・推奨に従うこと

- 1 国法に従うこと
- 2 例会の再開には、入り口の消毒液の設置
- 3 例会時はマスクの着用
- 4 ソーシャル・ディスタンスを保つこと
- 5 国歌斉唱、スピーチ時もマスク着用
- 6 友情の握手は控えること
- 7 可能なら例会の時間を短縮する
- 8 状況によってはアルコール或いは食事を提供しない



2. 100年前のスペイン風邪を教訓に、今秋の第二波に備えること

3. 例会がSNS(zoomなど)でできるように慣れておくこと
4. 会長・幹事会をオンラインで開催できるようにしておくこと
5. クラブ内の委員会もオンラインでの開催ができるように準備しておくこと
6. 長期に例会が開催されていなかったため、各会員の近況を気遣うこと
7. 苦しい会員企業のことを考慮して、会費の値下げ、分割払いの検討
8. 新型コロナウイルスの世界的な蔓延の中で、ロータリーは何をすべきか、自分の地域と世界にも目を向けること

表紙の解説

旧室蘭駅舎に鎮座する蒸気機関車D51は石炭積み出し港室蘭を象徴する文化遺産。明治25年岩見沢―室蘭間が開通、以後鉄道網は伊達、長万部へと西部へ延長され、更には伊達紋別から倶知安への胆振線も開通し、西胆振の街々を繋ぐ原動力となった。

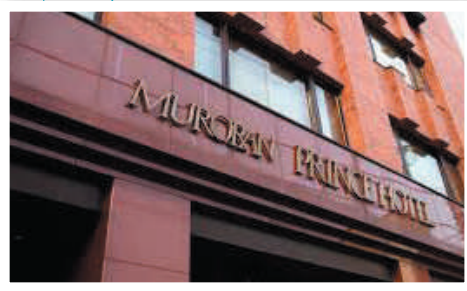




District 2510

第9グループ各クラブの例会場

●室蘭RC(室蘭プリンスホテル)



●室蘭北RC(ホテルサンルート室蘭)



●室蘭東RC(蓬莱殿)



●伊達RC(伊達ロイヤルホテル)



●登別RC(登別グランドホテル 仮例会場)



●洞爺湖RC(洞爺湖万世閣ホテル)

